

事業の概要

1 常設展示

常設展示を構成する資料

区分	実物資料 及び標本類	ジオラマ機器 模 型 類	カラー透視 写真及び写真	図 板	計
地 学	424 点	25 点	9 点	44 点	502 点
生 物	945	95	71	38	1,149
歴史・民俗	686	29	68	45	828
美 術	568	—	—	4	572
合 計	2,623	149	148	131	3,051

(1) 地学・生物展示室 (515㎡)

<地 学>

- 本県の地形と地質の全貌と特徴を各種の模型で展示。
- 郷土の生いたちについて岩石や化石などによって解説。
- 本県及びその周辺で産出した化石と各地質時代の化石（三葉虫、アンモナイト、タルボサウルスほか）の展示。ナウマンゾウの全身骨格（模型）とゾウの進化に関するコーナーを設置。
- 古生物を中心にした各地質時代の景観復元ジオラマ7景。
- 本県で産出した有用鉱物を中心として、基本的な鉱物（水晶、方解石、ザクロ石、黄鉄鉱等）を展示。
- 温泉水地下地質と湧出する機構を示す模型の展示。
- 紫外線の照射による蛍光鉱物の発光実験。
- 各種ウラン鉱物の展示と放射能測定の実験。
- 砂丘と大山の地質的特徴とその生成発達を解説展示。
- 人類の進化についてレーザーディスクによって解説。

<生 物>

- 大山と砂丘の生物の垂直分布や水平分布の状態とその特性を解説展示。
- 岩礁の生物と生態と分布を解説展示（ジオラマ）。
- 中国山地の代表的な植生景観と動物の生態展示（ジオラマ）。
- 頭足類、甲殻類、魚類の分類と生態を解説展示。
- ハチュウ類の分類展示。
- 両生類の分類展示。オオサンショウウオの発育過程と飼育の展示。
- 池の生物の生態展示（ミニジオラマ）。
- 水生小動物の飼育展示。
- 鳥類の生息環境による分類と生態を解説展示。
- 哺乳類の分類展示。

- 山陰沿岸の貝類の分類と生態を解説展示。
- 昆虫の生活様式による分類と生態を解説展示。
- 郷土の植物の分類展示。
- 樹幹とキノコの生態展示。
- 動物の行動や植物の生育環境をレーザーディスクによって解説。

<自然資料紹介コーナー>

- 久松山周辺の小鳥たち 平成5年5月11日(火)～6月20日(日)
- 宇宙からの使者「美保関いん石」 平成5年6月5日(土)～6月13日(日)
- 水中から陸上へ「シーラカンスと両生類の化石」 平成5年6月22日(火)～8月8日(日)
- 鳥取県東部のカミキリムシとクワガタムシ 平成5年8月10日(火)～10月3日(日)
- 鉱物の世界 -水晶- 平成5年10月5日(火)～11月14日(日)
- 冬の水鳥 -カモの世界- 平成5年11月16日(火)～12月28日(火)
- 日本の哺乳類 平成6年1月5日(水)～2月20日(日)
- 恐竜以前のは虫類の化石 平成6年2月22日(火)～4月10日(日)
- 新しく収集した鳥類剥製 平成6年4月12日(火)～5月29日(日)

(2) 歴史・民俗展示室 (515㎡)

<狩猟から農耕へ>

- 縄文時代の遺物(土器、石器、骨角器)と生活の解説展示。
- 弥生時代の遺物(青銅器、土器、石器)及び文化交流などの解説展示。

<古墳とその時代>

- 古郡家1号墳をはじめとする古墳の一括資料の解説展示。
- 本県で出土した須恵器の分類展示。
- 重要文化財伯耆長瀬高浜遺跡出土はにわ等本県で出土した代表的なはにわの展示。
- 銅鏡、各種玉類、武具、馬具などの展示。
- 梶山古墳彩色壁画のカラー写真パネルと出土遺物の展示。

<奈良・平安の因伯>

- 古廃寺出土の軒丸瓦、仏足、瓦経などの展示。
- 伯耆国分寺跡出土の風鐸の展示。
- 経筒等経塚出土品の展示。
- 国宝三徳山三仏寺投入堂模型(10分の1)。
- 因幡国庁出土の墨書土器緑釉陶器等の展示。
- 平城宮出土の木簡(レプリカ)の展示。
- 伊福部徳足比売骨蔵器(レプリカ)の展示。
- 時範記(複製)等の展示。
- 国宝・伯耆一宮経塚出土の経筒(レプリカ)の展示。

<戦乱の時代>

- 因伯の荘園と武士団の分布図及び伯耆国河村郡東郷庄下地中分図(模写)の展示。
- 中世遺跡出土、鰐口、青磁小壺、白磁五輪花皿、青磁香炉、青磁盤の展示。

- 新興寺文書及び伝名和長年像の展示。
- 布施天神山城出土の陶磁器片の展示。
- 梵鐘二口（廃阿代寺、国英神社）印賀宝篋印塔（レプリカ）の展示。

<土農工商の社会>

- 鳥取城模型、鳥取城下図（模写）、鳥取城瓦など鳥取城関係の展示。
- 池田光仲肖像・書画をはじめ鳥取池田家の解説展示。
- 大山寺領総図（模写）・大山牛馬市図など江戸時代の大山寺の解説展示。
- 検地帳や宗門改帳、町奉行日記や町年寄日記など江戸時代の農村と都市について展示。
- 鳥取藩の藩札と近世の貨幣などの展示。

<因州藩から鳥取県へ>

- 最後の藩主池田慶徳、初代県令河田景与の肖像写真パネルの展示。
- 藩から県に移行する時期の行政の日記の展示。

<生活の中の道具>

- 江戸時代末期から明治時代にかけて分布した広間型農家の一部を復元し、生活用具を配して展示。
- 稲作農具を稲作作業の進行にしたがって展示。
- 宮大工道具の展示。
- 因幡錠の展示。

<伝え継ぐ心>

- 年中行事、県内の代表的な民俗行事を季節により写真と資料によって解説展示。
- 人形芝居、きりん獅子、郷土玩具などの芸能娯楽用具を解説展示。
- とんど、双盤念仏、綱引き、亥の子などの民俗行事をVTRによって紹介。

<歴史の窓>

- 職人の手仕事－竹編み－ 平成5年4月6日～6月27日
- 縄文土器の造形 平成5年6月29日～9月26日
- 山陰線と鳥取駅の歴史 平成5年9月28日～11月7日
- 検地帳と年貢免状－年貢のしくみ－ 平成5年11月9日～12月24日
- 元旦試筆－大名の書初め－ 平成6年1月5日～1月30日
- 雪と民具 平成6年2月1日～3月13日

(3) 美術展示室 (260㎡)

- 平安時代から室町時代の国・県指定の仏像・仏画を展示。
- 江戸時代の鳥取藩絵師等の掛軸・屏風及び本県出身作家の作品を展示。
- 本県出身の彫刻家の作品をロビー等に展示。

主な展示資料 (○印は保護文化財)

<近世絵画>

佐野の渡図	根本幽巖	当館蔵	恵比寿之図	柴田義董	当館蔵
糸瓜に猫図	土方稲嶺	〃	吉野松島図屏風	正増適処	〃
百花図	牧野芝石	〃	○雲龍図	土方稲嶺	〃

花鳥図	狩野益信	当館蔵	大黒天図	英 一蝶	個人蔵
楠公図	根本幽峨	〃	猿之図屏風	土方稻嶺	〃
二本鯉図	黒田稻葉	〃	松竹梅鶴図	狩野養川院	〃
三社図	沖 九臯	〃	日に松鶴図屏風	根本幽峨	〃
狗子図	土方稻嶺	〃	常盤雪行図	〃	〃
幾田右門像	根本幽峨	〃	芭蕉蝸牛図	土方稻嶺	〃
鶴之図	土方稻嶺	〃	蓮池舟遊図屏風	狩野益信	〃
醉李白図	島田元旦	〃	牡丹猫図	土方稻嶺	〃
花王獸王図	片山楊谷	〃	白大黒図	根本幽峨	〃
白河入城図	根本幽峨	〃	宇治川先陣図	〃	〃
蜀漢開周合図	〃	〃	東方朔図	片山楊谷	〃
鴛鴦曉眠図	土方稻嶺	〃	勿来関図	狩野探信	〃
群鯉図	黒田稻臯	〃	女酒宴図	根本幽峨	〃
雪中梅華図	土方稻嶺	〃	双筆五十三次	広重豊国	〃
二見浦図	〃	〃	富士秋景図	狩野探信	〃
松鶴図	沖 一峨	〃	雛 図	菅 美紀	〃
興禅院殿神影	〃	〃	翁・千歳・黒尉	狩野周信	〃
日本武尊東征図	根本幽峨	〃	春秋山水図	〃	〃
大楠公図	沖 九臯	〃	龍虎図屏風	狩野山雪	〃
遊鯉図	小畑稻升	〃	琴棋書画図屏風	根本幽峨	〃
花鳥図屏風	根本雪峨	〃	高桜定家卿図	〃	〃
富士山図	狩野有信	〃	うづらの図	黒田稻臯	〃
関羽図	原 在照	〃	諸葛孔明図	沖 九臯	〃
前九年八幡公図	沖 一峨	〃	四季花鳥図	島田元旦	〃
鯉魚之図	小畑稻升	〃	群鯉之図	小畑稻升	〃
運龍図	黒田稻臯	〃	牡丹小禽図	土方稻嶺	〃
○群鯉遊泳図屏風	〃	〃	紫式部清少納言	根本幽峨	〃
梅二鶴図	狩野幸信	〃	四季花鳥図屏風	小畑稻升	〃
山水図	正埜適処	〃	楊貴妃図	島田元旦	〃
琴高仙人図	谷 文一	〃	東海道道中屏風	〃	〃
瀑布図	根本幽峨	〃	義経図	黒田稻臯	〃
○群鯉遊泳図屏風	黒田稻臯	〃	小松引図	根本幽峨	〃
千匹鯉図	〃	〃	春草花之図	〃	〃
遊女図	遊女大橋	〃	四季花鳥図	沖 一峨	〃
雲龍図	黒田稻臯	〃	○富士見西行図	沖 探容	〃
虎之図	岸	〃	花鳥図屏風	黒田稻臯	〃
東方朔図	土方稻嶺	〃	風俗図巻	英 一蝶	〃
樵人之図	田中日華	〃			

<近代彫刻>

つどい	長谷川塊記	当館蔵	野良の父と子	辻 晉堂	当館蔵
村の女	辻 晉堂	〃	裸	早川巍一郎	〃
寒山	〃	〃	寒山	辻 晉堂	〃
ポーズ	長谷川塊記	〃	少女	〃	個人蔵
寒拾	辻 晉堂	〃			

<工芸>

中国漆器 2	当館蔵	四季草花蒔絵料紙箱	当館蔵
伊万里焼 1	〃	楼閣人物螺鈿卓	〃
中国漆器 4	〃	虎溪三笑蒔絵棚	〃
牡丹唐草蒔絵冊子箱	〃	伊万里焼 3	〃
中国漆器 1	〃	公竹椿橘鶴亀蒔絵阿古陀香炉	〃
古今集蒔絵冊子箱	〃	中国漆器 3	〃
鉄線九曜紋蒔絵紙台	〃	双龍蒔絵聞香炉	〃
染付楼閣山水文四隅切皿	〃	中国漆器 6	〃
四季草花蒔絵料紙箱	〃	岩松橘沢瀉紋蒔絵重香合	〃
染付網干文鉢	〃	伊万里焼 5	〃
古今集蒔絵冊子箱	〃	漆器 皿、盆など	〃
中国漆器 5	〃	染付花箋文皿	〃
園遊人物螺鈿平卓	〃	流水桜蒔絵硯箱	〃
柳下人物螺鈿箱	〃	因久山焼 1	〃
舟遊螺鈿机	〃	備前焼壺 1	関金地蔵院蔵
竹林鶏螺鈿卓	〃	○花禽獸文様壁掛	譲伝寺蔵
因久山焼 2	〃	○立涌に孔雀文様打敷	〃
伊万里焼 2	〃	○雲龍図	〃
雲風人物螺鈿八角食籠	〃	因久山焼 3	個人蔵
伊万里焼 4	〃	備前焼壺 2	〃
京名所蒔絵鼓箱	〃	白磁四耳壺	〃
伊万里焼 6	〃	○第一太力の太刀拵	禰野神社蔵
梅鴛鴦蒔絵小鼓胴	〃	○玉纏太刀式の太刀拵	〃
染付日本地図大皿	〃	○飾り太刀拵	〃
四季草花蒔絵硯箱	〃	染の型紙	個人蔵
染付竹雪輪文皿	〃		

<宗教>

滝見観音図	当館蔵	懸仏残欠 3	個人蔵
阿弥陀来迎図	〃	涅槃図	興禅寺蔵
渡唐天神図	〃	懸仏残欠 2	個人蔵
懸仏	〃	懸仏残欠 1	海蔵寺蔵
○釈迦十六善神図	大安興寺蔵	○擬宝珠	地藏院蔵

○大日如来坐像 涅槃図	長砂地区蔵 豊乗寺蔵	○稲荷像 ○狛犬	倉吉市円谷地区蔵 三朝町湯谷地区蔵
○不動明王図 愛染明王図	〃 〃	懸仏残欠4 蔵王権現像	個人蔵 観照院蔵
○両界曼陀羅 弘法大師行状曼陀羅	〃 〃	毘沙門天像 涅槃図	個人蔵 〃

(4) 近代美術展示室 (374㎡)

ア 鳥取県の近代美術Ⅰ 「とりの表現～描かれたとり・つくられたとり～」

会期 平成5年4月29日(木)～5月23日(日)

とり年にちなんで、とりにちなんだ日本画、洋画、彫刻、工芸作品を展示。

<出品目録>

<歴史資料>

埴輪(水鳥型・頭部のみ)	古墳時代(岩屋古墳出土)	H9.0	個人蔵
埴輪(水鳥型・レプリカ)	古墳時代(三明寺古墳出土)	H40.3	当館蔵
鴟尾(レプリカ)	奈良時代(白鳳)(王鉾廃寺出土)	H162.0	〃
鏡(和鏡)	鎌倉～室町時代		〃
磬	鎌倉時代		〃
染織品(立涌に孔雀文様打敷)	桃山時代	142.0×145.0	譲伝寺蔵
奉納額(白鷹図)	江戸時代	83.0×50.0	個人蔵
奉納額(白鷹図)	〃	74.0×46.0	〃
栗鶉蒔絵硯箱	〃	20.8×19.4×4.1	当館蔵
雉蒔絵旅鏡台	〃	21.4×17.5×9.8	〃
梅鶯蒔絵小鼓胴	〃	総長25.3	〃
松竹椿橘鶴亀蒔絵古陀香炉	〃	8.6×7.1	〃
藍波文染縮緬地千鳥網干文様下着	明治初期	丈125.0 桁60.5	個人蔵
蒲団表(紺木綿地鳳凰文様)	江戸時代	160.0×127.0	当館蔵
蒲団表(紺木綿地鳳凰文様)	〃	153.0×142.0	〃

<近世絵画(鳥取藩の絵師)>

群鶴図(三幅対)	土方 稲嶺	絹本著色	江戸時代	117.0×59.5×3	個人蔵
牡丹孔雀図	土方 稲嶺	〃	〃	184.0×98.5	〃
鶉之図	黒田 稲臯	〃	〃	32.2×41.2	〃
小禽図(二幅対)	沖 一我	〃	〃	107.8×40.8×2	〃
牡丹小禽図	黒田 稲臯	紙本著色	〃	41.0×50.0	〃
花鳥図(二幅対)	島田 元旦	絹本著色	〃	135.3×44.3	〃

<近代～現代の絵画と彫刻>

鶯 鶯	浜田 台児	紙本著色		45.5×53.0	個人蔵
孔 雀	稗田 一穂	〃		62.5×73.5	鳥取県科協研会
紅白梅と雀	前田 青邨	〃		55.0×70.0	個人蔵

翡翠	前田 青邨	紙本著色		46.0×78.5	個人蔵
雲雀の巢	中島 菜刀	絹本著色		121.0×36.0	〃
夕やけ鳥	松田 晃八	油彩・キャンパス		45.0×38.0	〃
鳥のある静物	中井 金三	〃	1929	45.7×60.7	倉吉博物館
記念碑的鳥	国頭繁次郎	油彩・板	1968	145.5×97.0	当館蔵
白い鳥	脇田 和	油彩・キャンパス		20.5×24.0	個人蔵
ホルス	岡村桂三郎	コラージュ	1993	84.0×72.0	〃
横顔と鳩のいる静物	大沼 映夫	コラージュ・紙	1989	50.0×70.0	〃
鳩と教会	有田 巧	フレスコ	1992	72.5×50.5	〃
群鶏図	中島 菜刀	絹本著色	大正末期	107.0×142.0(二曲一隻)	〃
雄鶏	辻 晉堂	木		H29.5	〃
隼	辻 晉堂	〃	1939	H28.5	〃
鳩	辻 晉堂	〃	〃	H28.3	〃
道標・鳩	柳原 義達	ブロンズ	1979	H42.0 51.0×28.5	鳥獣科医師会
つどい	長谷川塊記	〃	1972	H74.5	当館蔵
梟	福本 和夫	紙本墨画	1978	68.3×39.0	〃

〈現代の陶芸〉

鳥像柿天目	鈴木 治		1978	H12.5 12.5×12.0	個人蔵
瑠璃鳥	鈴木 治		1975(頃)	H12.5 12.5×12.0	〃
酉	鈴木 治		1981	H10.0 9.5×9.0	〃
鶴汀(一双)	川瀬 忍		1992	H38.5 H32.5	〃
鳥花絵花挿	藤平 伸			H14.2	〃
灰陶童女絵花瓶	藤平 伸			H14.5	〃
鳥を持つ少年(陶坂)	藤平 伸			30.5×22.0	〃
翡翠(陶坂)	藤本 能道			1985 19.6×13.7	〃
草白釉色絵金彩晩秋翡翠図六角小筥	藤本 能道	1985		H4.2 14.0×12.2	〃
雪白釉色絵金彩木瓜と小禽図六角台筥	藤本 能道			H6.0 25.5×22.0	〃
草白釉色絵盛夏翡翠図四角小筥	藤本 能道			H4.2 11.4×11.4	〃
色絵雀図六角大筥	高橋 誠	1991		H9.5 40.0×36.0	〃
色絵金彩桜に山雀と目白図大皿	高橋 誠			H7.3 径56.5	〃
色絵磁器尾長鳥図大壺	高橋 紘	1990		H33.0 径36.5	〃
色絵鶉野葡萄紋四角皿	影山 明志			22.7×22.0×5	〃
絵瀬戸扁壺花入	北大路魯山人			H25.1 径21.0	〃
鉄絵銅彩草原と鶯文壺	田村 耕一			H25.5 径18.0	〃
鶯の図(陶板)	田村 耕一			径16.0	〃
陶彩景双鶴図飾皿	坂高麗左衛門			H4.5 径30.0	〃
花器・翔	三輪 龍作	1984		H25.0 66.7×21.0	〃
鳥のシリーズ・鏡の前で	林 秀行	1983		H56.4 43.0×13.5	〃
寓話・戦争	天野 緑	1991		H21.0 70.0×33.0	当館蔵

<現代の金工・漆工・人形>

金彩鳥文印箱・	増田 三男		H 7.5 7.8×7.8	個人蔵
南蛮放生(紙塑人形)	鹿児島寿蔵	1976	H25.7	〃
平文箱「光彩」	大場 松魚	1989	H12.5 14.0×22.0	〃
平文けはい香合	大場 松魚		H2.5 径6.5	〃
平文南飛平棗	大場 松魚	1982	H6.0 径8.5	〃

イ 鳥取県の近代美術Ⅱ 「新しく収蔵した美術品」

会 期 平成5年6月6日(日)～7月4日(日)

平成4年度に収蔵した作品を展示紹介。

<出品目録>

(洋画)	前田 寛治	「白い服の少女」「海」素描
	伊谷 賢蔵	「けしと裸婦」「卓上秋果」「室内裸婦」など
	福留 章太	「作品Q」「作品1」「増幅する15」など
	有田 巧	「風歌い」
(日本画)	島田 元旦	「江村幽居図」
	沖 一峨	「芙蓉に群鴨図」
	菅 楯彦	「杜鵑三十石」
(彫刻)	辻 晉堂	「村の女」「野良の父と子」「寒山」
	石田 明	「遠流」「会長」「ディレクターS」
	茗荷 恭介	「スパイラルステップス」「彷徨する虚(ウロ)」

ウ 鳥取県の近代美術Ⅲ 「前田寛治と砂丘社」

会 期 平成5年7月13日(火)～8月29日(日) 会場は常設展示室

中井金三、前田寛治から、砂丘社の画家たちの作品を紹介。

<出品目録>

小椋 繁治	木地山風景	1935代	水彩・紙	37.6×47.3	個人蔵
小椋 繁治	花	1939頃	〃	45.6×38	〃
波多野幸治	静物	1923	油彩・Bキャンバス	23.5×32.0	〃
波多野幸治	風景		油彩・キャンバス	54.0×64.0	北条町立北条小学校蔵
小田 幸子	芍薬	1928-1930	〃	53.2×45.6	個人蔵
増田 英一	戸山ヶ原	1922	〃	50.1×65.5	〃
増田 英一	花	1922	〃	33.4×24.3	〃
山折寅二郎	雪雲	1940	〃	65.2×91.2	倉吉博物館蔵
前田 利三	神戸寺池町	1938	〃	31.8×40.5	当館蔵
前田 利三	女	1940	〃	27.0×34.0	〃
河本 緑石	作品1	1925頃	〃	33.5×45.5	個人蔵
河本 緑石	病気の図	1925頃	油彩・キャンバス	46.0×60.5	〃
河本 緑石	作品2	1925頃	〃	33.0×45.5	〃
中井 金三	校庭の桜		〃	40.0×51.5	当館蔵
中井 金三	橋津風景	1920	〃	80.5×116.8	倉吉博物館蔵

中井 金三	七類海岸	1918	油彩・キャンバス	65.2×91.0	倉吉博物館蔵
浜田 重雄	襟巻をした女	1929	〃	53.0×45.5	当館蔵
浜田 重雄	婦人像1	1929	〃	80.3×65.2	〃
浜田 重雄	青年像	1929	〃	90.9×72.7	〃
川上 貞夫	花(ダリヤ)	1922	〃	52.0×44.5	個人蔵
川上 貞夫	T子像	1929	〃	89.0×71.0	当館蔵
川上 貞夫	大砲	1932	〃	95.5×128.5	〃
恩田 孝徳	白樺湖		水彩・紙	51.0×66.0	個人蔵
恩田 孝徳	人物(婦人像)	1930	〃	75.0×54.0	〃
恩田 孝徳	静物(ダイヤ)	1928	〃	76.0×55.5	〃
恩田 孝徳	塩釜神社	1931	〃	27.5×35.0	〃
前田 寛治	横臥裸婦	1928	油彩・キャンバス	97.0×162.0	当館蔵
前田 寛治	棟梁の家族	1928	〃	131.0×162.0	〃
前田 寛治	物を喰う男	1924	〃	116.7×91.0	〃
前田 寛治	縋帯をした男	1924頃	〃	72.8×50.0	〃
前田 寛治	立てる子供	1922	〃	117.0×80.5	〃
前田 寛治	花と子供等	1921	〃	80.5×117	〃
資料	(「砂丘」創生之記 他13点)				倉吉博物館蔵

エ 鳥取県の近代美術IV 「前田寛治の画業」

会期 平成5年9月5日(日)～10月4日(日) 会場は常設展示室

前田寛治の作品を展示。

<出品目録>

自画像	1928頃	45.5×38.0	キャンバス	個人蔵
麦わら帽の子	1920頃	23.7×33.2	板	〃
子供の像	1921	33.0×23.8	〃	〃
少女	1922頃	65.6×46.0	キャンバス	〃
花と子供等	1921	80.5×117.0	〃	当館蔵
立てる子供	1922	117.0×80.5	〃	〃
赤い帽子の少女	1925	61.5×45.0	〃	個人蔵
ふたりの子供	1929頃	23.8×33.0	板	〃
子供の像	1930	33.0×24.0	〃	〃
縋帯をした男	1924頃	73.0×50.0	キャンバス	当館蔵
労働者	1924頃	117.0×91.0	〃	個人蔵
立っている労働者	1924頃	162.0×93.0	〃	〃
ブルターニュの女	1925	166.0×101.0	〃	〃
彫刻家の肖像	1925	117.0×80.0	〃	〃
西洋婦人像	1924	60.6×50.0	〃	〃
裸婦	1925	99.7×72.5	〃	〃
裸婦	1926頃	73.0×100.0	〃	当館蔵

仰臥裸婦	1926	112.0×145.0	キャンバス	当館蔵
裸婦	1926	97.0×146.0	〃	個人蔵
椅子にかける裸婦	1927	53.5×41.0	〃	〃
横臥裸婦	1928	97.0×162.0	〃	当館蔵
伏臥裸婦	1928	113.0×146.0	〃	〃
福本和夫像	1927	91.0×72.5	〃	〃
着物の婦人像	1927	91.0×73.0	〃	〃
少女座像(赤衣)	1927	117.0×91.0	〃	〃
少女と子供	1927	145.5×112.0	〃	〃
棟梁の家族	1928	131.0×162.5	〃	〃
白い服の少女	1928	73.0×60.5	〃	〃

オ 鳥取県の近代美術Ⅴ 「明治・大正・昭和」〈特別棟列 近代の仏師・国米泰石〉

会期 平成5年11月20日(土)～12月19日(日)

鳥取県の近代美術作品と、併せて仏師・国米泰石の資料を展示紹介。

〈出品目録〉

中島 菜刀 麒麟獅子図	1938	178.0×285.0	著色紙本	当館蔵
菅 楯彦 神倉秋景図	1962	158.5×98.0	〃	〃
遠藤 董 清水彦五郎像	1880	65.0×50.5	油彩・キャンバス	〃
藤井禎三郎 俤	1908	33.5×25.0	油彩・ボードキャン	〃
久米 福衛 少年(H少年の像)	1915	80.5×61.0	油彩・キャンバス	〃
中井 金三 浴衣の女	1915頃	80.5×61.0	〃	〃
川上 貞夫 T子像	1929	91.0×73.0	〃	〃
浜田 宣伴 黒衣婦人像	1927	116.8×91.0	〃	〃
笹鹿 彪 室内にて	1925	116.7×80.3	〃	〃
中井 金三 大山滝雪景	1910	72.0×90.5	〃	〃
松田 晃八 雪後	—	72.0×90.5	〃	〃
松田 晃八 山の風景	—	73.5×116.0	〃	〃
橋本 興家 砂丘早春 砂丘連作の内	1968	59.5×48.5	和紙・多色木版	〃
橋本 興家 砂丘新雪 砂丘連作の内	1968	59.5×48.0	〃	〃
橋本 興家 雪の砂丘 砂丘連作の内	1968	59.5×48.5	〃	〃
前田 寛治 工場風景	1924頃	53.0×80.3	油彩・キャンバス	〃
前田 寛治 静物	1923	45.8×60.6	〃	〃
前田 寛治 西洋婦人	1925頃	90.5×73.0	〃	〃
前田 寛治 着物の婦人像	1927	52.5×71.5	油彩・キャンバス	〃
前田 寛治 少女坐像(赤衣)	1927	117.0×91.0	〃	〃
前田 寛治 白い服の少女	1928	73.0×60.5	〃	〃
前田 寛治 雪景(雪晴れ)	1926	65.5×80.5	〃	個人蔵

〈国米泰石〉

石 膏 聖観音菩薩立像			66.0	昭和30年
-------------	--	--	------	-------

石	膏	魚濫観音像	55.5	昭和30年
石	膏	大黒天像	34.0	〃
石	膏	弥勒菩薩像	44.0	
木	刻	魚濫観音像	43.0	昭和23
木	刻	松尾乃大神像	28.0	昭和29
木	刻彩色	不動明王坐像	41.0	
木	刻白檀	弥勒菩薩像	31.0	昭和22
木	刻彩色	弘法大師像	48.5	昭和7
木	刻彩色	大黒天立像（当館蔵）	47.5	大正元

（太宰府観音寺大黒天像模刻五分の一像）

木	刻彩色	福神像（当館蔵）	37.0	昭和24
木	刻彩色	猩々舞像	32.0	昭和29
木	刻彩色	大国主命像	15.0	
木	刻彩色	雛人形（一对）	各11.0	
木	刻彩色	高砂像（一对）	各24.0	
面	二面	（小面）（猩々）		
京	都府	安祥寺・広隆寺仏像之図 妙法院仏像之図		
〃	〃	浄瑠璃寺・岩船寺・西明寺仏像之図		
岡	山県	高野神社・勇山寺不動・額面図解	昭和8	
福	岡県	太宰府観音寺・国分寺国宝仏像之図	大正4	
〃	〃	博多東光院其他国宝仏像之図		
奈	良県	法輪寺仏像之図 高野山国宝仏像之図	大正13	
和	歌山県	長保寺仏像之図		
徳	島県	雲辺寺国宝仏像修繕図解	大正8	
高	知県	国宝仏像之図		
島	根県	万福寺・観音堂国宝修理図解	大正8	
鳥	取県	大山寺・青龍寺・豊乗寺仏像修理図解	昭和7	
〃	〃	大日寺・観音堂仏像修理図解		
〃	〃	三仏寺仏像修理図解		
〃	〃	長楽寺仏像実測図		
〃	〃	学行院仏像修理図解		

その他 国米泰石資料 妙心寺大仏師号証状 興福寺感謝状 美術院辞令
欄間下図 使用ノミ類 等々

カ 鳥取県の近代美術Ⅵ 「明治・大正・昭和」＜特別棟別 芸術家の書と作品＞

会 期 平成6年1月5日(水)～1月30日(日)

前田寛治・辻晋堂ら、鳥取県に関係した作家たちをはじめとする、作家の書と作品を展示。

＜出品目録＞

富岡	鉄斎	王堂富貴	紙本著色	27.5×141.5	明治40(1907)年
富岡	鉄斎	晩江淵漁図	〃	153.0×50.5	大正4(1915)年

早川 幾忠	黄菊白菊紫の菊	紙本著色	17.5×32.0	昭和37(1962)年
早川 幾忠	和漢朗詠集	紙本淡彩	26.0×23.5	
辻 晉堂	白菜之図	〃	40.0×47.5	昭和25(1950)年
辻 晉堂	西條柿之図	〃	33.5×36.5	
辻 晉堂	石と鈍固	〃	25.0×21.0	昭和44(1969)年
辻 晉堂	鈍固 図	〃	24.0×33.0	昭和44(1969)年
辻 晉堂	雨の日	木彫	(高)16.5	昭和15(1940)年頃
辻 晉堂	少女と犬	〃	(高)29.5	〃
辻 晉堂	はせを	〃	(高)18.5	〃
平櫛 田中	書「不老」	紙本墨書	34.0×23.5	昭和51(1976)年
平櫛 田中	書「出入大吉」	〃	131.0×34.0	昭和43(1968)年
澤田 政廣	備前鉢「聖観音」藤原雄作陶・澤田政廣刻面		(高)8.0(径)35.0	昭和52(1977)年
澤田 政廣	書「廣大無辺」	紙本墨書	57.0×59.0	昭和50(1975)年
奥村 土牛	書「三宝柑」	紙本淡彩	26.5×23.5	
梅原龍三郎	静物	油彩・キャンバス	33.0×47.0	昭和45(1970)年
梅原龍三郎	書「雲中鶴」	絹本墨書	40.0×31.0	昭和57(1982)年
前田 寛治	書「土蜘蛛走れ」	紙本墨書	23.3×34.5	
前田 寛治	子供の顔(棟一郎)	油彩・板	33.0×24.0	昭和5(1930)年
棟方 志功	水中石像	紙本淡彩	35.0×57.0	
須田 剋太	書「何必」	紙本墨書	94.5×64.0	昭和62(1987)年
須田 剋太	若者	油彩・キャンバス	45.0×33.0	〃
熊谷 守一	白磁壺「五風十雨」		(高)28.5(径)26.0	昭和51(1976)年
熊谷 守一	書「鶴壽」	紙本墨書	66.5×34.5	昭和52(1977)年
中川 一政	書「李白之時」	〃	35.0×65.0	
中川 一政	織部花器「雨過天晴」		(高)23.5 15.0×5.0	
森繁 久彌	書「老驥伏櫪 志在千里」	紙本墨書	128.0×66.0	昭和60(1985)年
川端 康成	書「少女不言 花不語」	〃	39.0×27.0	昭和46(1971)年
黒田 辰秋	刻字額「三昧」(梅原龍三郎書)		70.0×45.5	
黒田 辰秋	耀貝螺鈿腰張茶器		(高)7.5(径)7.5	
富本 憲吉	書「風花雪月」	紙本墨書	30.0×98.5	
富本 憲吉	土焼色絵金彩菱模様香炉(火屋 増田三男)		(高)8.2(径)9.0	昭和27(1952)年
富本 憲吉	磁器色絵染付更紗模様香炉(火屋 増田三男)		(高)7.2(径)9.0	昭和26(1951)年
香取 正彦	書「吉祥」	紙本墨書	34.3×45.5	
香取 正彦	飛天文喚鐘		(高)30.0(径)18.0	
鹿島 一谷	箔書「萬歳」	紺布金泥	23.5×44.0	
鹿島 一谷	斜線文金箔彩銀飾箱		(高)9.8 16.0×8.6	平成4(1992)年
荒川 豊蔵	日本海産魚之図	紙本淡彩	34.2×44.0	昭和52(1977)年
荒川 豊蔵	萩茶碗(坂倉窯)		(高)8.8(径)12.5	
三輪 龍作	書「花紅」	紙本墨書	34.0×67.5	

三輪 龍作	花 器		(高)51.0	昭和57(1982)年
前田 寛治	縋帯をした男	油彩・キャンバス	73.0×50.0	大正13(1924)年頃
前田 寛治	彫刻家の肖像	〃	117.0×80.0	大正14(1925)年
前田 寛治	立っている労働者	〃	162.0×93.0	大正13(1924)年
前田 寛治	労働者	〃	117.0×91.0	大正13(1924)年頃
前田 寛治	物を喰う男	〃	116.7×91.0	大正13(1924)年頃
前田 寛治	福本和夫像	〃	91.0×72.5	昭和2(1927)年
前田 寛治	雪景(雪晴)	〃	65.5×80.5	昭和元(1926)年
前田 寛治	自画像	〃	45.5×38.0	昭和3(1928)年頃

キ 鳥取県の近代美術Ⅶ 「明治・大正・昭和」＜特別陳列 色と光を求めた画家・安岡信義＞

会 期 平成6年2月5日(土)～3月13日(日)

前田寛治の作品と併せて、安岡信義の作品を特別に展示。

＜出品目録＞

安岡 信義	自画像	キャンバス・油彩	1914	31.0×18.0	変3	当館蔵
安岡 信義	冬の読書	〃	—	45.0×33.0	P8	〃
安岡 信義	燈火にて	板・油彩	1909	33.0×23.0	F4	〃
安岡 信義	晩秋	キャンバス・油彩	〃	46.0×33.5	F8	個人蔵
安岡 信義	少年像	板・油彩	〃	33.5×23.5	F4	当館蔵
安岡 信義	童	板・油彩	〃	32.0×23.0	F4	個人蔵
安岡 信義	立てる裸婦習作	キャンバス・油彩	1910	61.0×25.0	変12	〃
安岡 信義	校舎雪景	〃	1911	24.0×33.0	F4	鳥取西高蔵
安岡 信義	夏の河岸	〃	〃	45.5×61.0	P12	当館蔵
安岡 信義	裸婦	〃	〃	45.4×33.3	F8	個人蔵
安岡 信義	杖を持つ男	〃	1913	60.8×45.5	P12	当館蔵
安岡 信義	友達	板・油彩	1914	23.0×33.0	F4	〃
安岡 信義	お濠の蓮	キャンバス・油彩	1915	64.0×91.0	P30	県立図書館蔵
安岡 信義	雨上がりの風景	〃	〃	33.0×45.0	P8	当館蔵
安岡 信義	糊つけ	〃	〃	45.0×33.5	P8	〃
安岡 信義	和服の女	板・油彩	〃	33.0×23.0	F4	〃
安岡 信義	読書(緑陰)	キャンバス・油彩	1915?	80.0×60.5	F25	〃
安岡 信義	神社風景	板・油彩	1916	24.0×33.0	F4	〃
安岡 信義	水浴風景	キャンバス・油彩	〃	45.0×38.0	F8	〃
安岡 信義	風景(打吹公園)	キャンバス・油彩	1917	35.0×45.0	P8	〃
安岡 信義	裸婦習作	〃	1920	90.9×72.7	F30	〃
安岡 信義	男の像	板・油彩	〃	33.5×23.5	F4	〃
安岡 信義	人物像	〃	1922	23.0×15.0	SM	〃
安岡 信義	座る裸婦	キャンバス・油彩	1928	45.0×38.0	F8	〃
安岡 信義	雪の風景	〃	—	60.0×80.0	F25	〃
安岡 信義	砂丘風景	〃	—	45.0×60.0	P12	個人蔵

安岡 信義	女の顔	板・油彩	—	32.0×23.0	F 4	個人蔵
前田 寛治	子供	キャンパス・油彩	1921	33.5×45.5	P 8	〃
前田 寛治	静物	〃	1923	45.8×60.6	P12	当館蔵
前田 寛治	工場内部	〃	1924	72.7×60.5	F20	個人蔵
前田 寛治	工場風景	〃	1924頃	53.0×80.3	M25	当館蔵
前田 寛治	風景	〃	1925	37.9×45.4	F 8	〃
前田 寛治	雪景（雪晴）	〃	1926	65.5×82.5	F25	個人蔵
前田 寛治	河の風景	キャンバス・油彩	1926頃	23.8×32.5	F 4	〃
前田 寛治	海	板・油彩	1930	16.0×23.0	S M	当館蔵
資料	(筆、写本、書簡、スケッチブック)		15点			

2 特 別 展

(1) 大海獣～クジラ・アシカ・ラッコたち～

会 期 平成5年7月30日(金)～8月29日(日)

会 場 第1特別展示室、第2特別展示室

主 催 鳥取県教育委員会、鳥取県立博物館

後 援 鳥取県各市町村教育委員会

入館料 一般 600円(500円)、高校生 400円(300円)、小・中学生 200円(150円)

※()は団体料金

私たちの豊かな未来を築くために、水中生活にもどった哺乳類や海に生活する動物たちの体のつくりや生活の様子を解説・紹介することにより、海に生活する動物たちと人類との関わりの中で、私たちは何をすべきかを考えてみる機会とした。

<関連行事>

ア 特別講演会(1)

期 日 平成5年7月31日(土)

演 題 悲劇のニホンアシカ

講 師 朝日大学歯学部 伊 藤 徹 魯 氏

イ 特別講演会(2)

期 日 平成5年8月8日(日)

演 題 クジラと人類の将来

講 師 水産庁遠洋水産研究所 粕 谷 俊 雄 氏

<出品目録>

1. 水中生活にもどったけものたち

シ ャ チ

頸 椎

(R)はレプリカ

太地町立くじらの博物館

コイワシクジラ

頸 椎

太地町立くじらの博物館

魚 類

等身模型

神戸市立須磨海浜水族園

ス ナ メ リ

等身模型

神戸市立須磨海浜水族園

ジ ュ ゴ ン

全身模型

鳥 羽 水 族 館

ラ ッ コ

剥 製

伊豆三津シーパラダイス

オ ッ ト セ イ

剥 製

鳥取県立博物館

2. 海の王者 ークジラ類ー

プロトケタス類

顎・歯(R)

国立科学博物館

ロフォケタス

顎・歯(R)

国立科学博物館

メタスクアロドン

顎・歯(R)

北九州市立自然史博物館

現世クジラ類

頭 蓋

鳥取県立博物館

クジラ類

脊 椎 骨

鳥取県立博物館

シロナガスクジラ

レリーフ

鳥 羽 水 族 館

シ ャ チ

全身骨格

太地町立くじらの博物館

マッコウクジラ	下顎骨格	太地町立くじらの博物館
オキゴンドウ	頭 骨	下田海中水族館
ハナゴンドウ	頭 骨	下田海中水族館
ハンドウイルカ	頭 骨	下田海中水族館
シワハイルカ	頭 骨	下田海中水族館
カマイルカ	液浸標本	鳥取県立博物館
オオギハクジラ	全身骨格	鳥取県立博物館
シロナガスクジラ	ヒ ゲ	太地町立くじらの博物館
ナガスクジラ	ヒ ゲ	太地町立くじらの博物館
ミンククジラ	ヒ ゲ	太地町立くじらの博物館
セミクジラ	ヒ ゲ	太地町立くじらの博物館
イワシクジラ	ヒ ゲ	太地町立くじらの博物館
ヒゲクジラのエサ	液 浸	太地町立くじらの博物館
ハクジラのエサ	液 浸	太地町立くじらの博物館
イ ッ カク	牙(R)	伊豆三津シーパラダイス
ミンククジラ	雄 性 器	伊豆三津シーパラダイス
ナガスクジラ	雄 性 器(R)	神戸市立須磨海浜水族園
ナガスクジラ	雌 性 器(R)	神戸市立須磨海浜水族園
古式捕鯨船 勢子壺番船	1/10模型	太地町立くじらの博物館
持左右船	1/10模型	太地町立くじらの博物館
網 船	1/10模型	太地町立くじらの博物館
近代捕鯨船	模 型	伊豆三津シーパラダイス

3. 海の人気者 ―ヒレ脚類―

ピンナークティデオ	頭 蓋(R)	国立科学博物館
エナリアークトス	頭 蓋(R)	国立科学博物館
デスマトフォカ	頭 蓋(R)	国立科学博物館
アロデスムス	頭 蓋(R)	国立科学博物館
タラッソレオン	頭 蓋(R)	国立科学博物館
アイブクス	頭 蓋(R)	国立科学博物館
セイウチ	頭蓋化石	鳥取県立博物館
カリフォルニアアシカ	全身骨格	下田海中水族館
カリフォルニアアシカ	剥 製	下田海中水族館
ゴマフアザラシ	全身骨格	下田海中水族館
オタリア	剥 製	下田海中水族館
アフリカオットセイ	剥 製	下田海中水族館
ト ド	剥 製	鳥羽水族館
カリフォルニアアシカ	剥 製	鳥羽水族館
キタオットセイ	剥 製	鳥羽水族館
バイカルアザラシ	剥 製	鳥羽水族館

ゼニガタアザラシ	剥 製	鳥取県立博物館
4. 海の妖精 -海牛類-		
クエスタカイギュウ	頭 骨(R)	山形県立博物館
ヤマガタダイカイギュウ	頭 骨(R)	山形県立博物館
ジュゴン	頭 骨	よみうりランド海水水族館
アメリカマナティー	頭 骨	よみうりランド海水水族館
ヤマガタダイカイギュウ	等身模型	大栄町教育委員会
ステラーカイギュウ	全身模型	鳥羽水族館
マナティー	全身模型	鳥羽水族館
ジュゴン	全身骨格	鳥羽水族館
ジュゴン	剥 製	よみうりランド海水水族館
アフリカマナティー	剥 製	神奈川県立博物館
5. 海のけものと人間 -保護と乱獲-		
ニホンアシカ	剥 製	熊本市立熊本博物館
ラ ッ コ	剥 製	伊豆三津シーパラダイス
マイルカ	等身模型	神戸市立須磨海浜水族館
オオギハクジラ	胃内容物	個人蔵

(2) 「工芸美術の華-富本憲吉と新匠の作家たち-」

会 期 平成5年10月9日(土)~11月7日(日)

会 場 二階第1・2・3展示室

主 催 鳥取県教育委員会、鳥取県立博物館

後 援 鳥取県各市町村教育委員会

入館料 一般 800円(600円)、高校生 500円(400円)、小・中学生 300円(200円)

※()は団体20名以上

没後30年を機に、近代日本工芸分野に大きな足跡を残した富本憲吉(重要無形文化財保持者)と、その周辺作家の作品を展覧して、明朗で清新な工芸美術の美を紹介。

<関連行事>

特別講演会

期 日 10月17日(土)

演 題 「模様とかたちの美-富本憲吉の陶芸」

講 師 福島県立美術館長 長谷部 満 彦 氏

<出品目録>

富 本 憲 吉 (1886~1963)

1	磁器色絵更紗模様六角飾筥	1945	(高)6.6 (径)22.1	奈良県立美術館
2	土焼鉄描銅彩柳模様大鉢	1946	(高)12.4 (一辺)31.7	富本憲吉記念館
3	磁器色絵壺模様陶板	1946	(径)30.1	富本憲吉記念館
4	磁器色絵柘榴に詩句陶板	1948	(高)1.8 (径)27.5	奈良県立美術館

5	磁器色絵五弁花模様煎茶茶器	1948	急須(高)6.5 (径)9.5 茶碗(高)2.8~3.9(径)5.6~6.9	富本憲吉記念館
6	磁器赤地金彩竹模様徳利(一对)	1949	各(高)14.2(径) 8.3	富本憲吉記念館
7	磁器色絵山帰来と詩句陶板	1949	(径)24.5	京都国立近代美術館
8	磁器赤地金彩花櫛と斜線模型六角捻徳利	1949	(高)16.8	大原美術館
9	磁器色絵金銀彩「風花雪月」字陶額(一对)	1950	各(高) 1.9(径) 7.5	奈良県立美術館
10	磁器色絵「富貴」字角皿	1950	(高) 3.5 (一辺)20.0	富本憲吉記念館
11	磁器色絵曲る道模様「風花雪月」字陶板	1950	(径)19.5	富本憲吉記念館
12	土焼天目釉蠟抜き「平常心」字大皿	1950	(高) 4.8 (径)30.5	大原美術館
13	磁器色絵「風花雪月」字角筥	1950	(高) 3.3 4.8×4.0	大原美術館
14	磁器色絵「雪松」字角皿	1951	(高) 3.5 20.0×20.0	奈良県立美術館
15	土焼銅彩蠟抜き竹林月夜模様鉢	1951	(高) 8.0 (径)29.1	奈良県立美術館
16	磁器色絵染付丸文角皿	1951	(高) 3.8 20.5×20.5	奈良県立美術館
17	土焼色絵金彩羊歯模様香炉(火屋 増田三男)	1952	(高) 8.6 (径)11.0	奈良県立美術館
18	磁器色絵梅竹模様瓶	1952	(高)22.5 (径)12.0	奈良県立美術館
19	磁器染付絵変り中皿(6客)	1952	各(高) 3.0(径)16.5	奈良県立美術館
20	磁器赤地金銀彩羊歯模様蓋付飾壺	1953	(高)18.0 (径)22.9	奈良県立美術館
21	磁器染付赤入ル曲る道模様中皿(5客)	1953	各(高) 2.9(径)16.8	奈良県立美術館
22	土焼鉄描銅彩万年青に寒山詩大皿	1953	(径)37.5	富本憲吉記念館
23	磁器赤地金銀彩羊歯模様蓋付飾壺	1953	(高)18.0 (径)24.0	文化庁
24	磁器色絵梅竹模様角瓶	1954	(高)20.9 (一辺)8.5	富本憲吉記念館
25	磁器染付赤入ル竹林月夜模様大皿	1955	(高) 4.6 (径)32.8	奈良県立美術館
26	磁器色絵四弁花模様蓋付壺	1955	(高)17.5 (径)22.1	石川県立美術館
27	磁器染付竹林月夜模様皿	1956	(高) 3.3 (径)24.8	奈良県立美術館
28	磁器色絵「花」字灰皿(2個)	1957	各(高) 6.2 6.0×8.1	奈良県立美術館
29	磁器色絵「風花雪月」字皿	1957	(高) 3.5 (径)19.0	富本憲吉記念館
30	磁器色絵「花」字皿	1957	(高) 3.5 (径)19.0	富本憲吉記念館
31	磁器色絵「花」字筒型蓋物	1958	(高)10.8 (径) 8.3	奈良県立美術館
32	磁器色絵金彩香炉(火屋 増田三男)	1958	(高) 6.7 (径) 7.7	富本憲吉記念館
33	磁器色絵金銀彩菱模様香炉(火屋 増田三男)	1958	(高) 7.5 (径) 9.2	富本憲吉記念館
34	磁器染付自作詩句大陶板	1959	(高) 1.8 (径)33.1	奈良県立美術館
35	磁器染付「花」「風花雪月」字箸置(10客)	〃	各(高) 1.5 4.2×4.2	奈良県立美術館
36	磁器色絵水瓶図大陶板	〃	(高) 2.0 (径)33.6	奈良県立美術館
37	白磁角筥(内側赤地金銀彩羊歯模様)	1959	(高) 8.8 18.0×7.3	富本憲吉記念館
38	磁器赤地金彩大和川急雨陶板	〃	(径)15.4	富本憲吉記念館
39	磁器色絵金銀彩染付「村落遠望」大陶板	〃	(径)32.2	富本憲吉記念館
40	磁器色絵「春夏秋冬」字灰皿	〃	(高) 6.7 9.0×12.8	富本憲吉記念館
41	磁器色絵金彩羊歯模様角瓶	1960	(高)20.1 (一辺) 7.0	奈良県立美術館
42	磁器金銀彩羊歯模様大飾皿	〃	(高) 5.0 (径)39.5	奈良県立美術館

43	磁器色絵金銀彩四弁花模様飾壺	1960	(高)18.5	(径)21.2	東京国立近代美術館
44	磁器色絵金銀彩四弁花模様飾皿	"	(高)4.5	(径)30.8	東京国立近代美術館
45	磁器色絵金銀彩羊歯模様香炉(火屋 増田三男)	"	(高)5.9	(一辺)6.6	京都国立近代美術館
46	磁器色絵金彩羊歯模様大飾壺	"	(高)23.0	(径)27.0	京都国立近代美術館
47	磁器色絵金銀彩羊歯模様飾筥	"	(高)8.8	16.5×7.5	東京国立近代美術館
48	磁器色絵金銀彩長方筥	1962	(高)5.8	7.5×17.5	奈良県立美術館
近藤悠三(1902~1985)					
1	葡萄染付壺		(高)27.0	(径)25.0	京都市立芸術大学芸術資料館
2	葡萄染付壺		(高)27.5	(径)28.0	京都市立芸術大学芸術資料館
3	柘榴釉裏紅壺		(高)28.2	(径)28.5	京都市立芸術大学芸術資料館
4	山染付赤絵壺		(高)33.5	(径)27.7	京都市立芸術大学芸術資料館
5	松染付瓢瓶		(高)25.4	(径)15.3	京都市立芸術大学芸術資料館
6	富士染付赤地金彩皿		(高)4.7	(径)29.6	京都市立芸術大学芸術資料館
7	山染付水指		(高)23.2	(径)10.5	京都市立芸術大学芸術資料館
8	山染付万葉字染付皿		(高)5.5	(径)34.6	京都市立芸術大学芸術資料館
9	ベルシャ古陶村染付皿		(高)4.5	(径)31.0	京都市立芸術大学芸術資料館
10	笹染付角皿		(高)3.0	(一辺)21.0	京都市立芸術大学芸術資料館
11	柘榴染付角鉢		(高)9.2	(一辺)22.7	京都市立芸術大学芸術資料館
12	梅染付面取壺		(高)24.2	(径)22.0	京都市立芸術大学芸術資料館
藤本能道(1919~1992)					
1	雪白釉銀彩杉葉木菟図六角大筥	1982	(高)6.5	37.0×32.0	株式会社 資生堂
2	草白釉描色絵樹陰宿鴉図八角大皿	1984	(高)5.5	47.0×47.0	青梅市立美術館
3	草白釉描色絵金彩夕陽乱舞大皿	1986	(高)4.8	(径)54.3	青梅市立美術館
4	草白釉描色絵金銀彩枯葉鴉之図四角筥	1986	(高)8.0	26.5×26.5	青梅市立美術館
5	草白釉描加彩翡翠図大皿	"	(高)5.8	(径)46.8	青梅市立美術館
6	草白釉描金銀彩宿鴉夕陽図四角隅切筥	"	(高)8.0	26.4×26.4	青梅市立美術館
7	草白釉描色絵金彩鳶之図扁壺	"	(高)29.0	27.5×14.0	青梅市立美術館
8	雪白釉描色絵銀彩翡翠図扁壺	"	(高)38.0	39.5×21.5	青梅市立美術館
9	梅白釉描色絵金彩月下樹陰五位鷺図四角皿	1990	(高)4.7	38.3×38.3	青梅市立美術館
10	梅白釉描色絵金彩木乃葉づく八角大皿	1991	(高)6.0	(径)46.0	青梅市立美術館
11	雪白釉描色絵樹陰落葉鴉図四角筥	1991	(高)8.0	27.0×27.0	青梅市立美術館
12	霜白釉描色絵「花咲き乱る」六角筥	1991	(高)7.6	30.5×30.0	
田村耕一(1918~1987)					
1	鉄釉あやめ文大皿	1965	(高)9.8	(径)50.0	京都国立近代美術館
2	鉄釉流し掛梅文楕円鉢	1966	(高)9.0	45.0×39.0	東京国立近代美術館
3	黒釉野草文大皿	1967	(高)10.0	(径)49.0	京都国立近代美術館
4	刷毛目鉄絵梅文大壺	1970	(高)46.0	(径)39.0	佐野市文化会館
5	刷毛目鉄絵葡萄文大壺	1973	(高)57.5	(径)30.5	東京国立近代美術館
6	青磁椿文広口壺	"	(高)43.0	(径)34.4	佐野市文化会館

7	青磁鉄仙文壺	1973	(高)27.0 (径)30.2	佐野市郷土博物館
8	葡萄文角瓶	1976	(高)27.1 12.8×12.4	栃木県立美術館
9	ほたるぶくろ文壺	1978	(高)30.0 (径)29.0	株式会社 資生堂
10	鉄絵銅彩椿と梅文大皿	1985	(高)11.9 (径)49.3	東京芸術大学芸術資料館
11	鉄絵銅彩梅林大壺	1985	(高)30.0 (径)31.5	佐野市郷土博物館
12	鉄絵銅彩梅文大皿	〃	(高)11.0 (径)49.5	佐野市郷土博物館
13	鉄絵銅彩葡萄文陶匣	〃	(高)13.8 18.8×13.0	栃木県立美術館
14	鉄絵銅彩草原と鷺文大皿	〃	(高)9.5 (径)48.7	株式会社 資生堂

北出 塔次郎 (1898~1968)

1	色絵田園図飾皿	1945頃	各(高)2.7(径)32.7	石川県立美術館
2	色絵牡丹文飾壺	1948	(高)33.0 (径)28.0	
3	色絵紗文手桐花文台皿	1953頃	各(高)4.4 22.6×22.6	
4	色絵魚貝文花瓶	1954	(高)34.5 (径)17.5	
5	色絵牡丹文飾皿	1955	(高)3.8 (径)28.0	
6	色絵瓢文輪花向付(5客)	1957	各(高)3.7(径)15.6	
7	色絵梅樹文長方皿(2名)	1955頃	各(高)3.6 10.3×16.5	
8	色絵開春図飾皿	1960頃	(高)5.3 (径)36.9	石川県立美術館
9	色絵瓶果図飾皿	〃	各(高)5.0(径)34.0	
10	色絵草花文句付(2客)	〃	各(高)7.5 9.5×9.5	
11	色絵魚文鉢	〃	(高)9.5 17.0×17.3	

加守田 障二 (1933~1983)

1	灰釉鉢	1966	(高)27.5 (径)42.0	京都国立近代美術館
2	銀陶六面鉢	1967	(高)13.5 (径)26.0	京都国立近代美術館
3	大角皿	1968	(高)14.5 70.0×53.5	栃木県立美術館
4	面体妬壺	1969	(高)30.0 21.9×19.5	栃木県立美術館
5	曲線彫文壺	1970	(高)42.3 21.0×22.0	
6	彩陶長方皿	1971	(高)9.4 79.6×31.4	
7	彩色壺	1972	(高)21.0 21.0×17.0	
8	彩色角扁壺	〃	(高)22.2 19.9×10.1	
9	彩色鉢	1973	(高)16.0 (径)27.8	
10	壺	1974	(高)49.0 24.5×12.2	栃木県立美術館
11	彩色壺	1975	(高)27.0 (径)20.0	
12	壺	1976	(高)40.5 17.0×12.3	
13	壺	1979	(高)47.0 (径)19.5	栃木県立美術館
14	壺	1980	(高)36.0 22.6×17.8	株式会社 資生堂

稲垣 稔次郎 (1902~1963)

1	縮緬地型絵染結び文模様着物	1953	152.0×127.0	
2	縮緬地型絵染苔の庭模様着物	1955	150.0×121.0	
3	縮緬地型絵染松模様着物	〃	149.0×127.0	

4	木綿地型絵染野草に匹田模様着物	1955	156.0×124.0	
5	縮緬地型絵染竹林模様羽織	1957	85.5×125.0	
6	縮緬地型絵染竹林模様着物	1958	150.0×118.0	
7	縮緬地型絵染木槿と野草模様着物	1959	157.0×130.0	
8	縮緬地型絵染野草図着物	1960	157.0×128.0	
9	紬地型絵染野草飛模様の着物	1961	154.0×126.0	
10	縮緬地型絵染水模様着物	1962	156.5×126.5	
鈴 田 照 次 (1916~1981)				
1	紬地木版摺更紗松文着物	1973	169.5×134.0	
2	紬地木版摺更紗草穂文着物	"	161.5×128.0	
3	緞子地木版摺更紗豊穂文着物	1974	162.5×136.0	
4	縹子地木版摺更紗松竹梅文着物	1975	170.5×132.0	佐賀県立美術館
5	縹子地木版摺更紗笹文着物	1975	170.0×138.0	
6	紬地木版摺更紗竹林文着物	1976	170.0×134.0	
7	紬地木版摺更紗麦穂文着物	1977	170.0×132.0	
8	紬地木版摺更紗松の花文着物	1978	166.0×134.0	佐賀県立美術館
9	紬地木版摺更紗山果鳥文着物	1980	170.0×135.0	佐賀県立美術館
10	縹子地木版摺更紗未央柳文着物	1981	170.0×133.0	佐賀県立美術館
志 村 ふくみ (1924~)				
1	紬織着物・七夕	1960	168.0×129.0	京都国立近代美術館
2	紬織着物・晩秋	1961	165.0×129.0	京都国立近代美術館
3	紬織着物・嵯峨野	1963	165.0×129.0	京都国立近代美術館
4	紬織着物・水瑠璃	1976	160.0×130.0	東京国立近代美術館
5	紬織着物・虫襖	1977	171.0×132.0	東京国立近代美術館
6	紬織着物・橋懸	1978	166.0×134.0	東京国立近代美術館
7	紬織着物・伊吹	1986		株式会社 資生堂
8	紬織着物・藤の里	1988		株式会社 資生堂
9	紬織着物・早蕨	1991		株式会社 資生堂
10	紬織着物・銀河	1992		株式会社 資生堂
伊 砂 利 彦 (1924~)				
1	型絵染着物・流れ	1971	170.0×134.0	
2	型絵染着物・八重山の海	1977	"	
3	型絵染着物・波	1977	"	
4	型絵染着物・ムソルグスキー作曲 展覧会の絵 こびとの踊りより	1979	"	
5	型絵染着物・ムソルグスキー作曲 展覧会の絵 ひよこの踊りより	1979	"	
6	型絵染着物・ムソルグスキー作曲 展覧会の絵 魔女の奇行より	1979	"	
7	型絵染着物・無地無松	1980	"	
8	型絵染着物・ドビュッシー作曲 前奏曲集 帆(ビエル)より	1986	"	

9	型絵染着物・ドビュッシー作曲 前奏曲集 花火より	1986	170.0×134.0	
10	型絵染着物・長唄娘道成寺 序(花の外には松ばかり)	1989	"	
内 藤 四 郎 (1907~1988)				
1	芥子文盛器	1949	(高)10.2 (径)31.5	東京芸術大学芸術資料館
2	銀蹴彫成器	1962	(高)10.0 (径)24.4	東京国立近代美術館
3	臙銀花喰鳥筥	1965	(高) 7.8 16.7×7.5	東京国立近代美術館
4	銀流線文筥	1967	(高) 6.2 12.0×7.5	東京国立近代美術館
5	斜交文銀壺	1977	(高)13.8 (径)12.2	東京国立近代美術館
6	花文銀六角筥	1980	(高) 8.4 11.5×18.0	東京国立近代美術館
7	斜交文銀筒形花器	1981	(高)26.8 7.8×10.3	東京国立近代美術館
8	六花透彫銀盛器	"	(高) 5.0 26.0×24.0	文化庁
9	菱文黄銅筥	1983	14.8×8.4×8.0	株式会社 資生堂
10	蝶とシャボン玉銀香炉	1984	(高)10.0 (径)10.4	東京国立近代美術館
11	柳蹴彫銅花器	1987	(高)22.3 (径)12.5	株式会社 資生堂
関 谷 四 郎 (1907~)				
1	黄彩壺	1966	(高)19.0 (径)18.0	
2	赤銅銀接合皿	1972	(高) 3.5 29.0×29.0	東京国立近代美術館
3	銅鉄接合花挿	1973	(高)30.0 (径)10.0	板橋区立美術館
4	銅鉄接合水滴	1974	(高) 5.0 8.0×7.0	
5	赤銅銀十字線花器	1975	(高)23.7 (径)16.7	東京国立近代美術館
6	銀黒銅接合皿	1976	(高) 7.0 (径)36.0	坂橋区立美術館
7	銅銀接合花器	1977	(高)18.0 (径)33.0	
8	金彩銅壺	1980	(高)26.5 (径)19.5	板橋区立美術館
9	銀打出壺	1981	(高)24.0 (径)25.0	板橋区立美術館
10	線花器	1983	(高)30.0 10.7×8.5	朝ボラ伝統文化振興財団
増 田 三 男 (1909~)				
1	銀象嵌鉄鳴文箱	1967	(高)10.0 17.0×9.0	京都国立近代美術館
2	金彩銅壺山菜莢と鷺	1971	(高)26.0 (径)23.0	埼玉県立近代美術館
3	金彩銀兎文筥	1983	(高) 5.0 5.8×3.8	
4	金銀彩壺「山背」	1990	(高)14.0 (径)16.0	文化庁
5	金彩鴛鴦文水滴	1990	(高) 3.4 6.2×6.5	
6	金彩梶ノ葉角小箱	1991	(高) 5.0 5.5×5.4	
7	金彩兎文角香爐	1992	(高) 7.5 7.0×7.0	
8	金彩兎文蒲穂銀壺	1992	(高)12.7 13.5×13.7	
9	金彩蝶文角箱	1992	(高) 7.0 8.0×5.5	
10	金彩鳥文印箱		(高) 7.3 8.1×7.8	
山 永 光 甫 (1889~1973)				
1	彩漆香盒		(高) 4.3 6.0×6.0	

2	春慶独楽塗菓子器		(高) 7.0	20.2×20.1	
3	乾漆花入	1950頃	(高)22.7	12.0×11.6	
4	独楽文椀(6客、共通)	1950頃	(高)10.0	14.0×14.0	
5	乾漆食盒	1950	(高) 7.0	20.3×20.2	
6	乾漆食盒		(高)10.7	(径)24.1	
7	朱彩盆	1956頃	(高) 2.7	(径)27.4	東京国立近代美術館
8	乾漆盆	1956頃	(高) 1.8	(径)22.6	東京国立近代美術館

3 催 物 展

(1) 「夭折の画家・前田寛治と異色の彫刻家・辻晉堂」

会 期 平成5年4月25日(日)～5月30日(日)

会 場 2階 第1・2展示室

鳥取県を代表する作家・前田寛治と辻晉堂について、その業績を紹介。

<主な出品目録>

前 田 寛 治

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 「麦わら帽の子」 (1920年ごろ) | 「子供の像」 (1921年) |
| 「ダリヤ」 (1921年) | 「立てる子供」 (1922年・鳥取県立博物館蔵) |
| 「静物」 (1923年・鳥取県立博物館蔵) | 「裸婦」 (1924年ごろ) |
| 「工場内部」 (1924年) | 「メーデー」 (1924年) |
| 「縋帯をした男」 (1924年ごろ・鳥取県立博物館蔵) | |
| 「物を喰う男」 (1924年ごろ・鳥取県立博物館蔵) | |
| 「立っている労働者」 (1924年ごろ) | 「パリー風景」 (1925年) |
| 「フランス風景」 (1925年) | 「彫刻家の肖像」 (1925年) |
| 「ブルターニュの女」 (1925年) | 「裸婦」 (1926年ごろ・鳥取県立博物館蔵) |
| 「福本和夫像」 (1927年・鳥取県立博物館蔵) | |
| 「着物の婦人像」 (1927年・鳥取県立博物館蔵) | |
| 「少女と子供」 (1927年・鳥取県立博物館蔵) | |
| 「伏臥裸婦」 (1928年・鳥取県立博物館蔵) | |
| 「白い服の少女」 (1928年・鳥取県立博物館蔵) | |
| 「花」 (1929年) | 「子供の顔(棟一郎)」 (1930年) |
| 「海」 (1930年・鳥取県立博物館蔵) | |

など、油彩作品約53点と素描約33分展を展示。

辻 晉 堂

- | | |
|------------------------|---------------------------------|
| 「少女」 (1940年) | 「村の男」 (1941年) |
| 「婦人像」 (1939年・鳥取県立博物館蔵) | 「野良の父と子」 (1943年・鳥取県立博物館蔵) |
| 「鶏と女」 (1943年・鳥取県立博物館蔵) | 「トルソ」 (1955年・鳥取県立博物館蔵) |
| 「髭々髭々」 (1954年) | 「時計」 (1956年) |
| 「禁煙」 (1956年) | 「猫の頭」 (1956年) |
| 「沈黙」 (1957年・鳥取県立博物館蔵) | 「寒山」 (1958年・鳥取県立博物館蔵) |
| 「拾得」 (1958年・鳥取県立博物館蔵) | 「詰込主義教育を受けた子供」 (1960年) |
| 「小判型と七つの小窓」 (1962年) | 「寒山(Han-Shan)」 (1964年・鳥取県立博物館蔵) |
| 「歩く壁」 (1965年) | 「轉變」 (1965年) |
| 「目と鼻の先の距離について」 (1956年) | |
| 「タオスにて」 (1969年) | 「カラカサのオバケ」 (1974年) |
| 「平曲」 (1975年) | 「泥古庵」 (1979年) |

など、木彫、ブロンズ、陶彫など35点と版画(リトグラフ)5点に素描約10点を展示。

(2) 「画家 伊谷賢蔵と尾崎悌之助」

会 期 平成5年12月16日(木)～平成6年1月23日(日)

会 場 2階 第1展示室

行動美術協会で活躍した二人の画家について、その画業を紹介。

<出品目録>

伊 谷 賢 蔵

「下鴨の森」	(1929年)	F 30	「燈下婦人像」	(1933年)	F 30
「遠雷習作」	(1934年頃)	F 30	「黒衣婦人像」	(1935年)	F 60
「暁 闇」	(1942年)	F 50	「山河に挑む」	(1943年)	F 60
「苦力の交替時間」	(1944年)	F 40	「波」	(1946年)	F 50
「少女と梅」	(1948年)	F 60	「室内裸婦」	(1949年)	F 120
「けしと裸婦」	(1952年)	F 80	「立石山早春」	(1955年)	F 60
「万年山早春」	(1968年)	F 80	「クスコの朝市」	(1968年)	P 60
「梅」	(1968年)	P 50	「裏大山晩秋」	(1969年)	F 25
「新穂高より」	(1969年)	F 50			

尾 崎 悌之助

「山陰海濱」	(1935年)	F 25	「蓮 華 図」	(1943年)	F 50
「早 春」	(1950年)	F 30	「赤煉瓦と車輪」	(1952年)	F 50
「石仏五体」	(1956年)	F 80	「雪の材木置場」	(1958年)	F 50
「ノートルダム」	(1961年)	F 50	「人間無情」	(1965年)	F 80
「念仏寺の石塔」	(1966年)	F 80	「寒村雪景」	(1969年)	F 80
「お掘風景(B)」	(1970年)	F 80	「山陰段々畠」	(1972年)	F 50
「ロマネスクへの夢」	(1978年)	F 50	「石仏への夢(1)」	(1980年)	F 50
「こま犬の怒り(A)」	(1982年)	F 50			

(3) 安富コレクション展Ⅱ —考古資料・工芸資料の美—

会 期 平成6年2月15日(火)～3月13日(日)

会 場 2階 第1展示室

故安富寛兵衛氏(鹿野町)が収集された近世絵画や考古資料など数多くの資料を県立博物館に寄贈していただいたが、コレクションの中から考古資料と工芸資料を中心に展示・紹介した。

<主な出品目録>

各地出土の勾玉など玉類約3,000点、各地出土の石鏃・石槍など石器類約700点、漢式鏡・和鏡など鏡類約70点、かんざし類約20点、古墳時代耳輪類約70点、銅鐸・銅剣・銅鉾・銅戈などの青銅器類、懸仏・磬・三鈷杵などの仏具、瓦経、古銭、葵紋刀掛・菊蒔絵鏡台などの漆器類、兜・大筒などの武具、池田慶徳所用冠・蝶紋付塗空穂などの池田家関係資料、獅子頭・天狗面・蹴鞠・菓研などの民俗資料、因久山焼・湖東焼などの陶磁器類。

4 教育・普及活動

(1) 巡回展

展示テーマ	会 期	会 場	入場者数
地球の歴史と生物の進化	5.10.22 ~ 5.11.1	日野町公民館	1,064 ^人
	5.11.17 ~ 5.11.23	羽合町中央公民館	1,200
	5.11.26 ~ 5.12.23	西伯町歴史民俗資料館	642
計			2,906

(2) 天体観望会・見学会

事業名	期 日	場 所	参加人員
春の星を見る会	5. 4. 24	博物館前庭	16 ^人
野鳥の声を聞く会	5. 5. 16	鳥取市	70
夏の星を見る会(1)	5. 7. 24	博物館前庭	50
夏の星を見る会(2)	5. 8. 28	博物館前庭	28
地質見学会	5. 8. 22	佐治村	36
秋の星を見る会	5.10.16	博物館前庭	70
キノコを調べる会	5.10.24	鳥取市	64
計			334

(3) 講演会

演 題	講 師	期 日	参加人員
悲劇のニホンアシカ	朝日大学歯学部 伊藤徹魯氏	5. 7. 31	43 ^人
クジラと人類の将来	水産庁遠洋水産所 粕谷俊雄氏	5. 8. 8	36
計			79

(4) 講座

事業名	期 日	参加人員
自然講座 押し葉標本の作り方、昆虫標本の作り方	5. 8. 7	42 ^人
“ 標本を調べる会	5. 8. 28	131
“ 手作り乾電池教室	5.10.11	38
計		211

(5) 資料の貸出

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸出し先	貸付けの目的
銅経筒、銅鏡他	58 ^点		5. 3.20 ～ 5. 5.25	倉吉博物館	経塚遺宝展
地藏院蔵出土擬宝珠	2	県保護文化財一対	5. 3.29 ～ 5. 5.14	倉吉博物館	特別展「経塚の遺物」
馬ノ山4号墳模型他	3		5. 4. 1 ～ 6. 3.31	羽合町教育委員会	町歴史民俗資料館展示
「花と子供等」「横臥裸婦」「棟梁の家族」	3	前田寛治作	5. 4.16 ～ 5. 6. 9	日本経済新聞社大阪本社	「夭折の洋画家たち展」
鳥類剥製	53		5. 5. 7 ～ 5. 6. 3	青谷町教育委員会教育長	鳥展
岩石・化石類	40		5. 6. 3 ～ 5. 6.30	青谷町教育委員会教育長	青谷町の歴史展
「沈黙」「拾得」「時計」	3	辻 晉堂作	5. 7. 5 ～ 5. 8.28	愛知県陶磁資料館	「現代の陶芸—1950～1990」
沖守国大阪府知事辞令他	26		5. 7. 8 ～ 5.11.19	伽霞会館	岩倉使節団内なる開国展
月の石	1		5. 7.14 ～ 5. 7.28	島根県美保関町長	美保関いん石第3回一般公開
集魚灯他	12		5. 7.31 ～ 6. 1.31	鳥取市文化センター	「海とくらし展」
素描（額縁100枚付）	145	前田寛治作	5. 8.27 ～ 5.11.19	石橋美術館	「前田寛治素描展」
「風歌しい」	1	有田 巧作	5. 9. 1 ～ 5. 9. 8	鳥取大丸	有田巧個展
花王獸王図関羽・張飛図	3	片山楊谷作	5. 9.15 ～ 5.11.15	京都国立博物館	特別展「黄檗の美術」
在方諸事控文政2年他	2		5. 9.16 ～ 5.10.31	鳥取県立図書館	「環日本海国際交流資料展」
オシドリ剥製	1		5.10. 8 ～ 5.10. 9	日本海テレビ制作部	公開番組展示
三角縁四神四獣鏡	1		5.10. 8 ～ 5.12.12	八代市立博物館 未来の森ミュージアム	古代の青銅器展
ナウマンゾウ全身骨格	1		5.10.12 ～ 5.12.10	広島県立歴史博物館	サルからヒトへ展
獅子舞奉納分布図	1		5.11. 4 ～ 5.11.19	福部村教育委員会	文化財特別展
竹編み模型他	27		5.11.25 ～ 5.11.30	鳥取県商工労働部	「鳥取県郷土工芸名品展」
「射」「崑崙山」「生誕」	3	三輪龍作	5.12. 1 ～ 6. 4. 5	下関市立美術館	「陶芸・三輪龍作の世界」
堀文庫、絵はがき他	94		6. 1.10 ～ 6. 2.16	鳥取県立図書館	「なつかしき鳥取の絵はがき展」
ニホンカワウソ剥製	1		6. 3. 1 ～ 6. 4.15	島根県立三瓶自然館	絶滅動物展
合計	481				

5 調査研究活動

(1) 調査研究

分野	事項
地学	赤波川溪谷のおう穴についての調査研究
動物	天神川の魚類についての調査研究 久松山の昆虫類についての調査研究
歴史	鳥取藩の検地と石高制についての調査研究 鳥取県の盆踊りについての調査研究
民俗	漁村の沿岸漁業の形態と民間信仰（サイノカミ）についての調査研究
考古	安富コレクションの考古資料についての調査研究
美術	鳥取県に関係した美術資料及びゆかりの作家、作品についての調査研究 平成6年度特別展（水木しげると日本の妖怪）に関係した調査研究

(2) 研究報告等の刊行

刊行物の名称	発行時期	回数	発行部数	規格	ページ数
郷土と博物館 第39巻	5年9月 6年3月	回 2	部 1,000	A5	ページ 32
博物館年報 No. 21	5年9月	1	400	B5	44
研究報告 第31号	6年3月	1	500	B5	80
資料調査報告書 第21集 ～旧八上郡下船岡村橋本家文書～	6年3月	1	300	B5	21
博物館だより No. 60～63	4・7・10・1月	4	2,500	B5	4